

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農地整備課長 田和 貢	電話番号	0852-22-5149
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	農村地域防災減災事業（ため池等整備事業）		
目的	(1) 対象	ため池等対象施設の下流に居住する住民や公共施設等	
	(2) 意図	ため池の決壊等による下流地域の洪水被害を防止することにより、県土の保全と安全安心な生活を確保する。	
事業概要	・ため池の決壊等による下流地域の洪水被害を防止するため、老朽化したため池や治水機能が劣っている水門に対し、施設の改修等を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 ため池の整備箇所数（累計）	目標値		258.0	263.0	266.0	271.0	箇所
		取組目標値						
	式・定義 計画期間内に整備完了した箇所数	実績値	255.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名 河川水門等の整備箇所数（累計）	目標値		2.0	5.0	6.0	8.0	箇所
		取組目標値						
	式・定義 計画期間内に整備完了した箇所数	実績値	0.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	1,055,951	1,454,367
うち一般財源 (千円)	56,130	99,109

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・平成27年度はため池2箇所の整備が完了し、ため池下流の居住者人命、家屋、公共施設の被害の未然防止に寄与した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・平成28年度には新たに整備が必要なため池1箇所、河川水門5箇所について、国庫補助事業により着手した。
 ・平成27年度より、予算の平準化と品質向上のため、債務工事に取り組んでいる。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- ・ため池等の施行にあたっては、休耕による営農者への影響を最小限とするため、各箇所とも工事着手後2年程度で完了させる必要があるが、十分な予算が確保できていない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- ・ため池等整備事業の国費が不足している。
- ③原因を解消するための「課題」
- ・ため池整備事業を推進していくためには、安定的な国庫補助事業予算の確保が不可欠。
 - ・ため池等の整備にあたって、更なるコスト縮減が必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・国予算について、当初予算での必要額の確保が図られるよう機会を捉えて国に働きかけていくとともに、債務工事の活用による予算の平準化を図る。
 ・新技術の導入を検討するなど更なるコスト縮減を図る。

9. 追加評価（任意記載）